

なんて起きています！父親は何度も踏みつけた

2014 家族の事件簿

▶3

今年1月30日未明、東京都葛飾区のマンションから119番があり、当時2歳の女児が病院に搬送された。死亡が確認された女児の肝臓は縦に割り、腹や背中には約40カ所のあざがあった。「公園のすべり台から落ちた」。警視庁葛飾署の調べに対し、父親(34)と母親(27)は当初、口を揃えてこう説明した。

「密室」消えた2歳の命

死亡した女児について、父親が当初「落ちた」と供述した公園の滑り台(東京都葛飾区)



生まれたのを機に、両親 担当者は振り返る。 女児の両親は共に無 職。経済的に養育が困難 だとして女児は他のきょうだい3人と同様に生後 すぐ親族宅に預けられた。 「父親は子煩悩な面 もあり、虐待の可能性は 13年春に5人目の子が

生まれたのを機に、両親 担当者は振り返る。 女児との同居を希望。 その頃 近所の男性は 児童相談所の提案で、親 族宅と両親宅を行き来す された両親とすれ違った。 「『こんにちは』と声を かけても返事はなかつ た。一家は周囲とほと 同12月に母親と面会した 際も「順調に過ごしてい る」と聞き、異常はない と判断していた。 今年1月下旬には「男 の怒鳴り声と子供の泣き 声があり、葛飾署員が 駆けつけていた。だが、 女児に傷などは見当た らず、「虐待はない」と 判断して児相には連絡し なかった。女児が死亡し

児相職員が女児に最後 に入ったのは昨年7月。 同12月に母親と面会した 際も「順調に過ごしてい る」と聞き、異常はない と判断していた。 今年1月下旬には「男 の怒鳴り声と子供の泣き 声があり、葛飾署員が 駆けつけていた。だが、 女児に傷などは見当た らず、「虐待はない」と 判断して児相には連絡し なかった。女児が死亡し

児相・警察、連携急ぐ 通報義務化、求める声

どの同行している。「児相職 員を威嚇したり、暴れたりす る親もいる。トラブル対応に 慣れた警察官がければ毅然と した対処ができる」(市児童 虐待対策室)という。 茨城県は今年9月、水戸地 検と協議会を発足させた。子 供への傷害容疑で逮捕され不 起訴になった保護者など、虐 待に関する捜査情報を共有す る仕組みを年度内をめどに策 定する。

たのはその5日後だっ かった。傷害致死罪 で、母親は声を詰まらせ ながら証言した。 12 年度の虐待死亡事案49 件の3割は、児相が日 常的に暴力を受けていた ことを明かした。親族の 証言では、女児の背中に アザを見つけ、父親が「ベ ルトでたたいた」と認め たこともあった。